

ダイオキシン類一日摂取量の試算に用いた諸元

(1) 各数値根拠

内海魚及び外海魚平均濃度

平成10～12年度ダイオキシン類の食品経由総摂取量調査研究報告における野菜、魚介等個別食品中ダイオキシン類濃度等に関する調査研究報告に示された個別食品毎の濃度結果から計算し、内海魚平均2.0 pg-TEQ/g、外海魚平均1.2 pg-TEQ/gとした。この場合、摂取重量割合を勘案した平均値は1.4 pg-TEQ/gとなる。なお、平成10～12年度ダイオキシン類の食品経由総摂取量調査研究報告によれば、魚介類からの摂取量は71 pg-TEQ/dayであり、単純に魚介類一日摂取重量の3カ年平均値でこの数値を除すと、0.74 pg-TEQ/gとなる。

内海魚と外海魚の摂取重量割合

内海魚4分の1、外海魚4分の3とした。

1日魚介類平均摂取量

平成9～11年国民栄養調査結果から、平均96 gとした。

体重

50 kgとした。

魚介類からのダイオキシン類の摂取割合

平成12年度ダイオキシン類の食品経由総摂取量調査研究報告から、76%とした。

(2) 計算式

$$\begin{aligned} & (2.0 \text{ (pg-TEQ/g)} \times 7.8 / 9.6 \quad \times 0.25 \\ & \quad (\text{内海魚平均濃度})(\text{対策前後の底質平均値比})(\text{4分の1}) \\ & + 1.2 \text{ (pg-TEQ/g)} \quad \times 0.75) \\ & (\text{外海魚平均濃度})(\text{4分の3}) \\ & \quad \times 0.74 / (2.0 \times 0.25 + 1.2 \times 0.75) \\ & (\text{摂取量から計算した平均値と、個別食品調査結果の内海魚・外海魚平均値を} \\ & \text{もとに摂食重量割合を勘案して算出した平均値との比}) \\ & \quad \times 96 \text{ (g)} (\text{魚介類摂取量}) \\ & \quad \div 50 \text{ (kg)} (\text{体重}) \\ & \quad \div 0.76 \text{ (魚介類からの摂取割合 76\%)} \\ & = 1.7 \text{ (pg-TEQ/kg/day)} \end{aligned}$$